

消費者金融に関する 調査結果報告書

2025年12月8日

株式会社エイチームライフデザイン

目次

- 調査概要
- サマリ
- 調査結果1: 消費者金融の認知と利用経験
- 調査結果2: 借入金額・返済・金利に対する意識
- 調査結果3: 消費者金融の利用意向
- 調査結果4: 消費者金融に対する意識・イメージ

調査概要

- 本調査は、全国の18歳以上の男女を対象に、消費者金融に対する「認知」「利用実態」「心理的ハードル」などを多角的に明らかにすることを目的として実施されたものである。
- 生活者が消費者金融に抱くイメージや、利用に際して重視するポイント、不安要素などを網羅的に把握し、社会的理解の促進に資するデータを収集している。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 調査手法 | インターネット調査 |
| 抽出母集団 | Freeesyを使用 |
| 有効回答数 | 400人 |
| 調査地域 | 全国 |
| 調査対象 | 18歳以上の男女 |
| 調査期間 | 2025/11/25～2025/11/25 |
| 調査機関 | 株式会社エイチームライフデザイン (ナビナビキャッシング運営元) |

調査概要

- 調査対象者の属性は、多様な職業層と金融リテラシーレベルを含んでおり、消費者金融の利用実態を横断的に捉える構成となっている。
- 職業別では「会社員」が47.3%と約半数を占め、次いで「無職」(18.5%)、「パート・アルバイト」(13.8%)が続く。安定収入層から非正規・無職層まで幅広い就労形態を網羅した。
- 金融リテラシー(お金の知識)については、「普通」と回答した層が48.0%で最多となった。
- 一方で、「低い」「まったくない」の合計は33.6%、「高い」「とても高い」は18.6%となり、金融知識に自信を持ってない層が約3分の1存在することが明らかになった。

Q. あなたの職業を教えてください。

| | | | 会社員 | 公務員 | 自営業 | 学生 | パート・アルバイト | 無職 | その他 |
|-----|-------|-----|-----|-----|-----|----|-----------|----|-----|
| 全体 | | 400 | 189 | 12 | 20 | 37 | 55 | 74 | 13 |
| 性別 | 男性 | 227 | 132 | 6 | 15 | 14 | 19 | 36 | 5 |
| | 女性 | 173 | 57 | 6 | 5 | 23 | 36 | 38 | 8 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 0 | 0 | 0 | 25 | 2 | 3 | 0 |
| | 20代 | 85 | 40 | 4 | 2 | 12 | 12 | 12 | 3 |
| | 30代 | 85 | 48 | 4 | 1 | 0 | 14 | 17 | 1 |
| | 40代 | 85 | 47 | 1 | 6 | 0 | 12 | 18 | 1 |
| | 50代 | 85 | 41 | 2 | 9 | 0 | 13 | 13 | 7 |
| | 60代以上 | 30 | 13 | 1 | 2 | 0 | 2 | 11 | 1 |

Q. あなたの金融リテラシー(お金の知識)について教えてください。

| | | | とても高い | 高い | 普通 | 低い | まったくない |
|-----|-------|-----|-------|----|-----|----|--------|
| 全体 | | 400 | 29 | 45 | 192 | 95 | 39 |
| 性別 | 男性 | 227 | 23 | 31 | 99 | 57 | 17 |
| | 女性 | 173 | 6 | 14 | 93 | 38 | 22 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 0 | 3 | 17 | 8 | 2 |
| | 20代 | 85 | 8 | 12 | 39 | 14 | 12 |
| | 30代 | 85 | 7 | 9 | 41 | 19 | 9 |
| | 40代 | 85 | 9 | 9 | 35 | 24 | 8 |
| | 50代 | 85 | 4 | 5 | 46 | 23 | 7 |
| | 60代以上 | 30 | 1 | 7 | 14 | 7 | 1 |

サマリ

- 調査の結果、生活者の多くが「テレビCM」(76.8%)や「インターネット広告」(28.3%)を通じて消費者金融を認知しているものの、利用経験がある層は全体の28.8%にとどまった。ただし、年代別に見ると20代の利用経験率は43.5%に達しており、若年層における利用の浸透が明らかとなった。
- 利用目的としては「急な出費」(58.3%)や「生活費」(40.9%)が過半を占め、実際の選定理由では「融資スピードの早さ」(60.0%)や「審査の通りやすさ」(45.2%)が上位となった。このことから、突発的な資金需要に対する「即時性」と「利便性」が強く求められていることがわかる。
- 一方で、利用における不安要素として「金利」(46.0%)や「返済計画」(26.8%)が挙げられるほか、利用に際して「周囲の目を気にする」と回答した人は8割超(80.6%)にのぼった。また、仮に金利がゼロになった場合でも利用意向が「変わらない」とする回答が57.0%を占めており、コスト面だけでなく、心理的・社会的な抵抗感が利用の大きな障壁となっている実態が浮き彫りとなった。
- 自由記述では依然として「怖い」「不安」といったネガティブなイメージが多く見られることから、今後は安心感・信頼性を軸としたブランドコミュニケーションや、若年層・利用検討層に向けた透明性の高い情報発信が、業界の健全な発展と理解促進の鍵となる。

01.

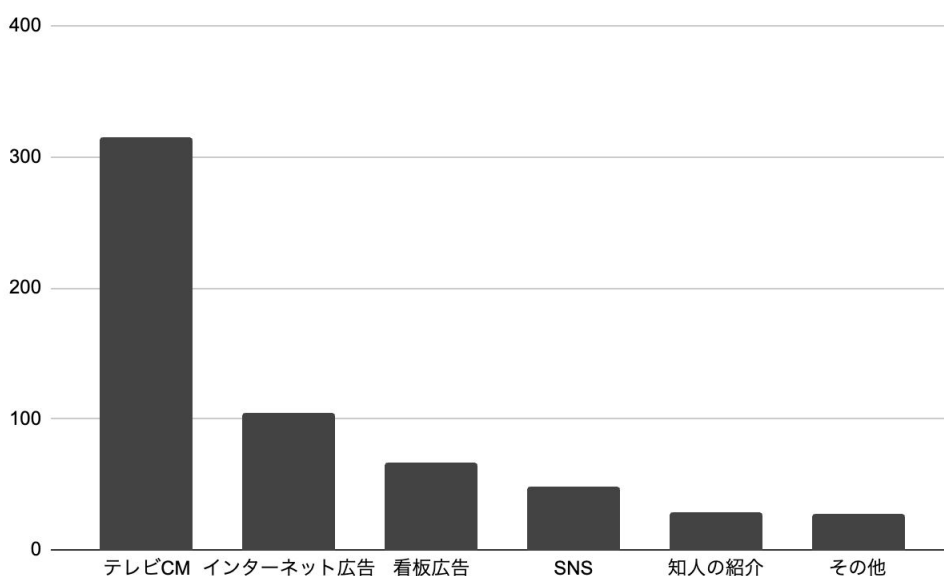
消費者金融の 認知と利用経験

消費者金融の認知と利用経験①

- 消費者金融の認知経路として最も多かったのは「テレビCM」(78.8%)で、前回(76.8%)同様に全年代・男女問わず圧倒的な影響力を維持している。次いで「インターネット広告」(26.0%)、「看板広告」(16.8%)が続き、視覚的接触頻度の高い媒体が上位を占めた。
- 年代別では情報接触チャンネルに顕著な差が見られる。10代では「SNS」が26.7%に達し、「インターネット広告」を上回る主要な認知経路となっている。20代・30代でもSNSは一定の影響力を持つ
- 一方、50代・60代以上では「テレビCM」が9割を超えており、若年層におけるSNSの台頭と、シニア層におけるマスメディアへの依存という二極化が進んでいる。

Q. 消費者金融を知ったきっかけを教えてください。(複数選択可)

| | | テレビCM | インターネット 広告 | 看板広告 | SNS | 知人の紹介 | その他 | |
|-----|-------|-------|---------------|------|-----|-------|-----|----|
| 全体 | | 400 | 315 | 104 | 67 | 48 | 29 | 28 |
| 性別 | 男性 | 227 | 186 | 75 | 49 | 26 | 19 | 13 |
| | 女性 | 173 | 129 | 29 | 18 | 22 | 10 | 15 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 19 | 5 | 3 | 8 | 3 | 5 |
| | 20代 | 85 | 51 | 25 | 18 | 14 | 9 | 7 |
| | 30代 | 85 | 68 | 22 | 11 | 15 | 4 | 6 |
| | 40代 | 85 | 71 | 24 | 14 | 9 | 8 | 4 |
| | 50代 | 85 | 79 | 21 | 14 | 2 | 3 | 4 |
| | 60代以上 | 30 | 27 | 7 | 7 | 0 | 2 | 2 |



消費者金融の認知と利用経験②

- 消費者金融の利用経験について、「現在利用中」は10.8%、「過去に利用経験がある」は10.0%で、合計20.8%が利用経験ありと回答した。年代別に見ると、30代の利用経験率が25.9%と最も高く、次いで20代・40代がいずれも24.7%で続いた。若年層から働き盛りの40代まで、幅広い現役世代で利用が浸透している実態がうかがえる。
- 性別では大きな差が生じており、男性の利用経験率(26.0%)に対し、女性は13.9%にとどまった。
- 特に「現在利用中」の割合では、男性15.4%に対して女性4.6%と3倍以上の開きがあり、資金需要や利用へのハードルに明確な性差が存在することが確認された。

Q. あなたの消費者金融の利用歴について教えてください。

| | | | 現在利用中 | 以前利用していたが現在は利用していない | 利用したことがない |
|-----|-------|-----|-------|---------------------|-----------|
| 全体 | | 400 | 43 | 40 | 317 |
| 性別 | 男性 | 227 | 35 | 24 | 168 |
| | 女性 | 173 | 8 | 16 | 149 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 1 | 2 | 27 |
| | 20代 | 85 | 13 | 8 | 64 |
| | 30代 | 85 | 13 | 9 | 63 |
| | 40代 | 85 | 14 | 7 | 64 |
| | 50代 | 85 | 2 | 9 | 74 |
| | 60代以上 | 30 | 0 | 5 | 25 |

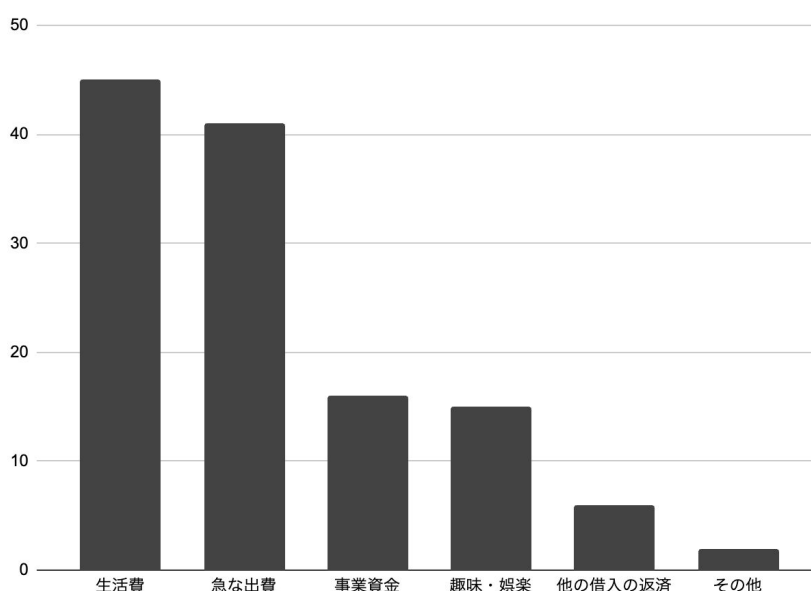
消費者金融の認知と利用経験③

- 利用目的のトップは「生活費」(54.2%)となり、前回最多だった「急な出費」(49.4%)を上回った。突発的な資金需要に加え、物価高等を背景とした日常的な家計補填としての利用が増加している傾向が見られる。「事業資金」(19.3%)、「趣味・娯楽」(18.1%)がこれに続き、前回上位の「他社借入の返済」は7.2%へ大幅に減少した。
- 年代別特徴として、20代では「事業資金」が38.1%と突出して高く、起業や副業など投資的な資金ニーズが目立つ。
- 対照的に、30代(68.2%)・40代(66.7%)では「生活費」が約7割を占めており、子育て・現役世代の生活防衛的な利用実態が浮き彫りとなっている。

Q. 消費者金融を利用した目的は何ですか？(複数選択可)

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | | 生活費 | 急な出費 | 事業資金 | 趣味・娯楽 | 他の借入の返済 | その他 |
|-----|-------|----|-----|------|------|-------|---------|-----|
| 全体 | | 83 | 45 | 41 | 16 | 15 | 6 | 2 |
| 性別 | 男性 | 59 | 31 | 29 | 12 | 11 | 4 | 1 |
| | 女性 | 24 | 14 | 12 | 4 | 4 | 2 | 1 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| | 20代 | 21 | 7 | 11 | 8 | 4 | 2 | 0 |
| | 30代 | 22 | 15 | 8 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| | 40代 | 21 | 14 | 13 | 3 | 3 | 1 | 0 |
| | 50代 | 11 | 6 | 5 | 0 | 4 | 2 | 1 |
| | 60代以上 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |



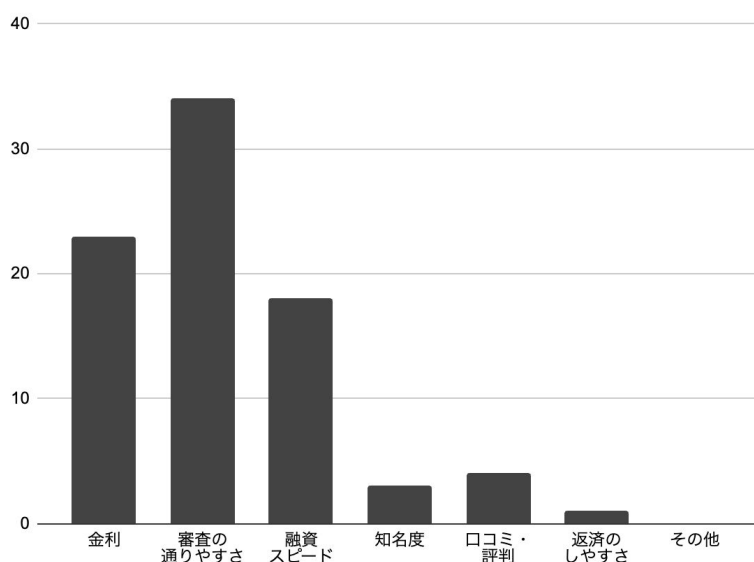
消費者金融の認知と利用経験④

- 利用時に最も重視されたポイントは「審査の通りやすさ」(41.0%)で、前回(27.8%)から大幅に増加し、全体の約4割を占める最重要項目となった。次いで「金利」(27.7%)、「融資スピード」(21.7%)が続き、確実な借入とコスト意識が交錯している。
- 属性別では重視点に違いが見られる。女性は「審査の通りやすさ」が66.7%と圧倒的で、確実性を最優先する傾向が強い。
- 一方、男性や40代では「金利」を重視する割合が高く、コストパフォーマンスをシビアに判断している。
- また、20代などの若年層では「審査の通りやすさ」に加え「融資スピード」へのニーズも高く、利便性と即時性が求められている。

Q. 消費者金融を利用する際に最も重視したポイントは何ですか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | 金利 | 審査の通りやすさ | 融資スピード | 知名度 | 口コミ・評判 | 返済のしやすさ | その他 | |
|-----|-------|----|----------|--------|-----|--------|---------|-----|---|
| 全体 | | 83 | 23 | 34 | 18 | 3 | 4 | 1 | 0 |
| 性別 | 男性 | 59 | 20 | 18 | 15 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| | 女性 | 24 | 3 | 16 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| | 20代 | 21 | 3 | 11 | 6 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 30代 | 22 | 5 | 10 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 |
| | 40代 | 21 | 9 | 7 | 4 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 50代 | 11 | 3 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 60代以上 | 5 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |



消費者金融の認知と利用経験⑤

- 銀行やクレジットカードではなく消費者金融を選んだ理由として、「審査に通りやすそうと思った」(57.8%)が前回1位の「融資スピード」(51.8%)を抜きトップとなった。「ネット・スマホ完結」(38.6%)も依然として高く、確実性と手軽さが選定の決め手となっている。
- 年代別の特徴として、20代では「職場や家族にバレにくい」が38.1%と高く、他年代と比較してプライバシー保護への要求が強い。
- 一方、30代・40代では「ネット・スマホ完結」がいずれも5割を超えており、多忙な現役世代において、店舗に出向くことなくWeb上で手続きが完了するフローが、利用の大きな誘引材料となっていることがわかる。

Q. クレジットカードのキャッシングや銀行ローンではなく、消費者金融を選んだ理由は何ですか？ (複数選択可)

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | 審査に通 りやすそう だと思 った | 融資ス ピードが早 かった | ネット・ スマホで 手続きが 完結でき た | 職場や 家族に バレにく いと思 った | 収入証明 書 なしで 借りられ た | 銀行や クレジッ トカード のキャッ シング 枠が使 えなかつ た | その他 | |
|-----|-------|----------------------------|---------------------|-----------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------------------------|-----|---|
| 全体 | | 83 | 48 | 43 | 32 | 17 | 10 | 5 | 1 |
| 性別 | 男性 | 59 | 35 | 28 | 21 | 10 | 5 | 2 | 1 |
| | 女性 | 24 | 13 | 15 | 11 | 7 | 5 | 3 | 0 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 20代 | 21 | 8 | 10 | 7 | 8 | 3 | 2 | 0 |
| | 30代 | 22 | 15 | 10 | 11 | 4 | 1 | 1 | 0 |
| | 40代 | 21 | 17 | 13 | 11 | 4 | 4 | 1 | 0 |
| | 50代 | 11 | 5 | 6 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| | 60代以上 | 5 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

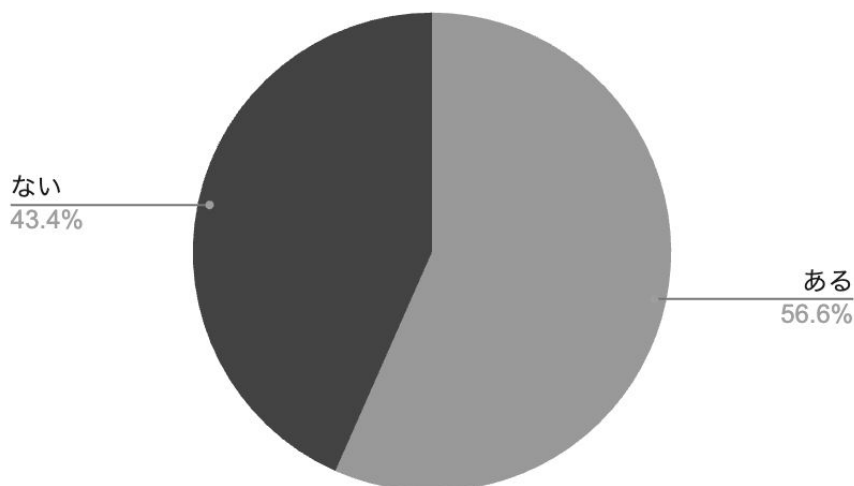
消費者金融の認知と利用経験⑥

- 消費者金融の審査に「通らなかったことがある」と回答した人は56.6%に達し、前回調査(33.0%)から20ポイント以上急増した。利用希望者の過半数が審査の壁に直面しており、審査基準の厳格化や申込者属性の変化が推察される。
- 特に若年層でのハードルが高く、審査落ち経験率は10代で100%、20代で71.4%という極めて高い結果となった。信用実績(クレジットヒストリー)の不足や収入要件が影響していると考えられる。
- また、30代・40代でも約6割が審査落ちを経験しており、安定収入がある層であっても、多重債務や過去の履歴等により、容易には利用できない現状が浮き彫りとなっている。

Q. 過去に消費者金融を利用しようとして、審査に通らなかったことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | | ある | ない |
|-----|-------|----|----|----|
| 全体 | | 83 | 47 | 36 |
| 性別 | 男性 | 59 | 32 | 27 |
| | 女性 | 24 | 15 | 9 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 3 | 0 |
| | 20代 | 21 | 15 | 6 |
| | 30代 | 22 | 13 | 9 |
| | 40代 | 21 | 13 | 8 |
| | 50代 | 11 | 3 | 8 |
| | 60代以上 | 5 | 0 | 5 |



消費者金融の認知と利用経験⑦

- 利用者のうち、返済が「難しくなったことがある」と回答した割合は57.8%で、前回(44.3%)から大幅に増加した。特に40代(61.9%)、30代(59.1%)などの現役世代で割合が高く、返済負担の実情は厳しい。
- 対処法としては「家族や知人に相談した」(58.3%)が最多となったが、「支払いを遅延した」も43.8%と前回(37.3%)より悪化した。
- 特に女性では「支払いを遅延した」が62.5%と突出しており、男性(34.4%)と比較して周囲に相談できず延滞に至るケースが多いことが懸念される。
- 男性は「家族や知人に相談」が7割を超えるなど、性別による対処行動の違いも顕著であった。

Q. 返済が難しくなったことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | | ある | ない |
|-----|-------|----|----|----|
| 全体 | | 83 | 48 | 35 |
| 性別 | 男性 | 59 | 32 | 27 |
| | 女性 | 24 | 16 | 8 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 2 | 1 |
| | 20代 | 21 | 12 | 9 |
| | 30代 | 22 | 13 | 9 |
| | 40代 | 21 | 13 | 8 |
| | 50代 | 11 | 5 | 6 |
| | 60代以上 | 5 | 3 | 2 |

→ Q. その際、どのように対処しましたか？

| | | | 家族や知人に 相談した | 別の金融機関で 借入した | 支払いを 遅延した | その他 |
|-----|-------|----|----------------|-----------------|--------------|-----|
| 全体 | | 48 | 28 | 19 | 21 | 1 |
| 性別 | 男性 | 32 | 23 | 13 | 11 | 0 |
| | 女性 | 16 | 5 | 6 | 10 | 1 |
| 年代別 | 10代 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| | 20代 | 12 | 4 | 7 | 4 | 0 |
| | 30代 | 13 | 9 | 5 | 5 | 0 |
| | 40代 | 13 | 9 | 2 | 7 | 1 |
| | 50代 | 5 | 3 | 3 | 4 | 0 |
| | 60代以上 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 |

消費者金融の認知と利用経験⑧

- 利用を検討したものの「断念したことがある」人は15.0%で、前回(11.8%)から微増した。年代別では40代(23.5%)と20代(16.5%)で高く、資金需要はあるものの利用に至らなかった層が一定数存在する。
- 断念の理由としては、「借入に対する不安」(60.0%)が依然として最多で、心理的障壁が最大の要因であることに変わりはない。
- 次いで「条件不足」(38.3%)、「審査への懸念」(35.0%)といった実質的なハードルが続く。
- 注目すべきは「申し込み方法が難しかった」が26.7%と増加傾向にある点で、心理面・審査面に加え、手続きの煩雑さや分かりにくさが新たな機会損失を生んでいる可能性がある。

Q. 過去に消費者金融を利用しようとして、断念したことはありますか？

※消費者金融利用歴について「現在利用中」または「以前利用していたが現在は利用していない」と答えた人のみ回答

| | | | ある | ない |
|-----|-------|-----|----|-----|
| 全体 | | 400 | 60 | 340 |
| 性別 | 男性 | 227 | 43 | 184 |
| | 女性 | 173 | 17 | 156 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 3 | 27 |
| | 20代 | 85 | 14 | 71 |
| | 30代 | 85 | 13 | 72 |
| | 40代 | 85 | 20 | 65 |
| | 50代 | 85 | 8 | 77 |
| | 60代以上 | 30 | 2 | 28 |

→ Q. その理由は何ですか？(複数選択可)

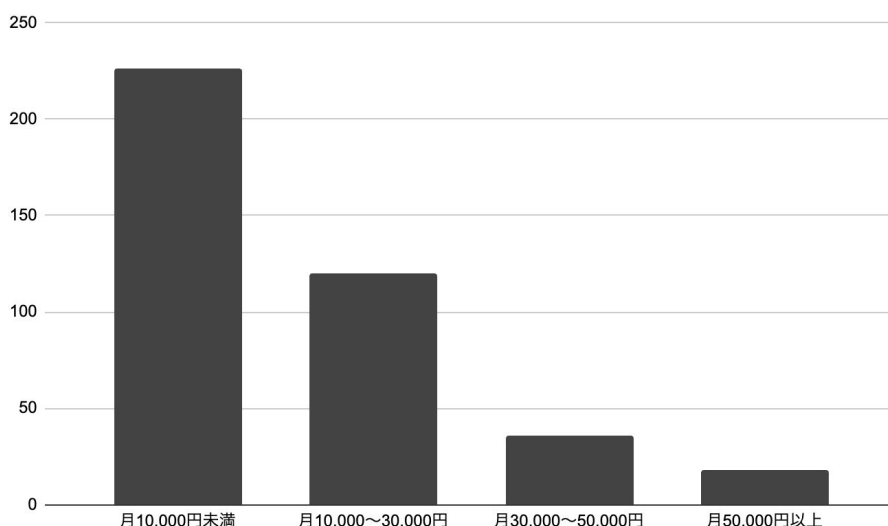
| | | 消費者金融から お金を借入 することに 不安があった から | 申し込み条件を 満たしてい なかったか ら | 過去の履歴 などから 審査に通ら ないと思っ たから | 申し込み方 法が 難しかった から | お金が必要 なタイミング までに融資 を受けるこ とが できないと 思ったから | 返済の目途 が 立たなかつ たから | その他 | |
|-----|-------|-------------------------------------------|--------------------------------|----------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------|-----|---|
| 全体 | | 60 | 36 | 23 | 21 | 16 | 8 | 7 | 1 |
| 性別 | 男性 | 43 | 27 | 16 | 14 | 12 | 6 | 5 | 0 |
| | 女性 | 17 | 9 | 7 | 7 | 4 | 2 | 2 | 1 |
| 年代別 | 10代 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 20代 | 14 | 8 | 6 | 7 | 4 | 4 | 2 | 0 |
| | 30代 | 13 | 7 | 5 | 4 | 4 | 0 | 0 | 0 |
| | 40代 | 20 | 13 | 8 | 8 | 7 | 2 | 2 | 1 |
| | 50代 | 8 | 5 | 2 | 2 | 1 | 1 | 3 | 0 |
| | 60代以上 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

借入金額・返済・金利に対する意識①

- 無理なく返済できる」と感じる毎月の返済額は、「月1万円未満」が56.5%で最多となり、次いで「1万～3万円未満」(30.0%)となった。全体の8割以上が月3万円未満の返済を希望しており、小口返済への志向が強い。
- 性別では、女性の67.6%が「月1万円未満」と回答し、男性(48.0%)よりも堅実な返済計画を求める傾向が顕著である。
- 年代別では10代(73.3%)が高いのは当然として、30代(60.0%)や50代(56.5%)でも60代以上(43.3%)を上回る高い割合を示した。
- 物価高等の影響もあり、現役世代においても月々の固定費となる返済負担を極力抑えたいという意識が広がっている。

Q. あなたにとって「無理なく返済できる」と感じる毎月の返済額はいくらですか？

| | | 月10,000円未満 | 月10,000～30,000円未満 | 月30,000～50,000円未満 | 月50,000円以上 |
|-----|-------|------------|-------------------|-------------------|------------|
| 全体 | | 400 | 226 | 120 | 36 |
| 性別 | 男性 | 227 | 109 | 72 | 30 |
| | 女性 | 173 | 117 | 48 | 6 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 22 | 6 | 2 |
| | 20代 | 85 | 45 | 32 | 7 |
| | 30代 | 85 | 51 | 21 | 9 |
| | 40代 | 85 | 47 | 23 | 8 |
| | 50代 | 85 | 48 | 26 | 8 |
| | 60代以上 | 30 | 13 | 12 | 2 |



借入金額・返済・金利に対する意識②

- 消費者金融の金利について、「とても高い」(50.3%)と「やや高い」(25.3%)を合わせた約75%が“高い”と感じており、依然として金利負担への懸念は根強い。
- 年代別では、60代以上(80.0%)や50代(69.4%)で「とても高い」の割合が高く、年齢層が上がるほど金利コストに対してシビアな感覚を持っている。
- 一方で、10代・20代などの若年層では「分からない」という回答が2～3割存在しており、金利相場に対する知識や関心が十分に醸成されていない現状も浮き彫りとなった。
- 高金利イメージの定着と同時に、若年層を中心としたリテラシー不足も課題と言える。

Q. 消費者金融の金利をどう感じますか？

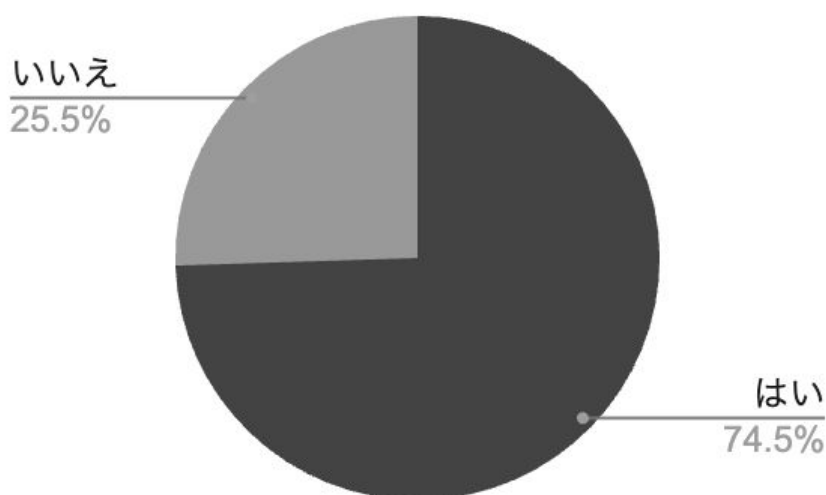
| | | | とても高い | やや高い | 適正 | 低い | 分からない |
|-----|-------|-----|-------|------|----|----|-------|
| 全体 | | 400 | 201 | 101 | 21 | 4 | 73 |
| 性別 | 男性 | 227 | 118 | 56 | 15 | 3 | 35 |
| | 女性 | 173 | 83 | 45 | 6 | 1 | 38 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 5 | 11 | 4 | 0 | 10 |
| | 20代 | 85 | 27 | 31 | 4 | 3 | 20 |
| | 30代 | 85 | 41 | 22 | 6 | 0 | 16 |
| | 40代 | 85 | 45 | 18 | 4 | 0 | 18 |
| | 50代 | 85 | 59 | 14 | 3 | 1 | 8 |
| | 60代以上 | 30 | 24 | 5 | 0 | 0 | 1 |

借入金額・返済・金利に対する意識③

- 利用検討時に「金利比較を行いたい」と回答した人は全体の74.5%で、前回(83.0%)より低下したものの、依然として約4人に3人が比較検討を希望している。
- 特に50代(85.9%)や60代以上(86.7%)では比較意向が極めて高く、コストへの敏感さが表れている。
- 対照的に20代では65.9%と全年代で最も低く、30代・40代でも7割程度にとどまった。
- 若・中年層においては、金利差よりも「審査の通りやすさ」や「スピード」などの利便性を優先し、詳細な条件比較を行わない層が一定数存在することがうかがえる。性別による大きな差は見られず、男女ともに比較意向は高い水準にある。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、金利比較は行いたいですか？

| | | | はい | いいえ |
|-----|-------|-----|-----|-----|
| 全体 | | 400 | 298 | 102 |
| 性別 | 男性 | 227 | 172 | 55 |
| | 女性 | 173 | 126 | 47 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 22 | 8 |
| | 20代 | 85 | 56 | 29 |
| | 30代 | 85 | 60 | 25 |
| | 40代 | 85 | 61 | 24 |
| | 50代 | 85 | 73 | 12 |
| | 60代以上 | 30 | 26 | 4 |

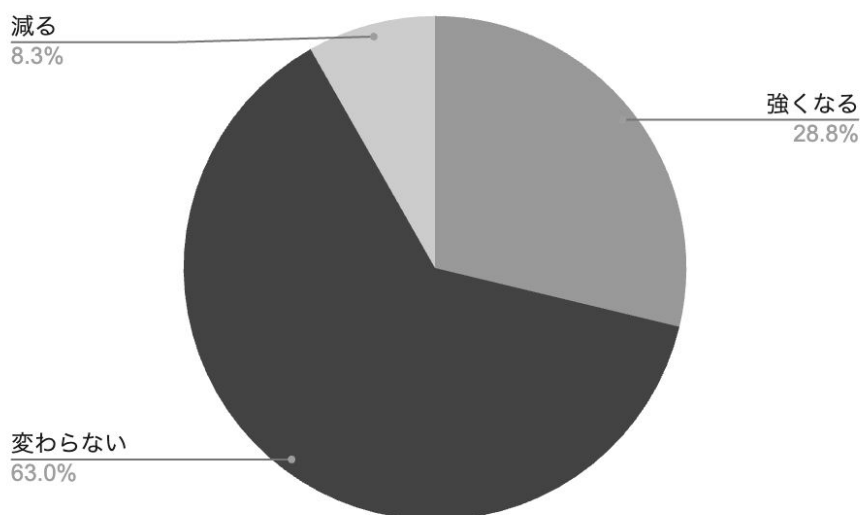


借入金額・返済・金利に対する意識④

- 金利がゼロになった場合の利用意向の変化について、「利用したい気持ちが強くなる」は28.8%にとどまり、「変わらない」が63.0%を占めた。金利コストが解消されても利用意向が変わらない層が多く、金利以外の「信用」「心理的抵抗」「手続きへの不安」などが利用の大きな障壁となっていることが再確認された。
- 年代別では40代(34.1%)や30代(31.8%)で「強くなる」の割合が比較的高い一方、前回高かった20代は24.7%にとどまった。
- 性別では男性(33.9%)の方が女性(22.0%)よりも反応が高く、男性や働き盛りの世代ほど、コストメリットが利用の動機付けになりやすい傾向がある。

Q. もし消費者金融の金利がゼロになったら、利用したいという気持ちに変化はありますか？

| | | | 利用したい 気持ちが 強くなる | 変わらない | 利用したい 気持ちは 減る |
|-----|-------|-----|-----------------------|-------|---------------------|
| 全体 | | 400 | 115 | 252 | 33 |
| 性別 | 男性 | 227 | 77 | 139 | 11 |
| | 女性 | 173 | 38 | 113 | 22 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 9 | 19 | 2 |
| | 20代 | 85 | 21 | 49 | 15 |
| | 30代 | 85 | 27 | 52 | 6 |
| | 40代 | 85 | 29 | 50 | 6 |
| | 50代 | 85 | 23 | 59 | 3 |
| | 60代以上 | 30 | 6 | 23 | 1 |



03.

消費者金融の利用意向

消費者金融の利用意向①

- 今後の利用可能性について、「高い」「どちらかといえば高い」と回答した人は合計20.0%で、前回(20.3%)と横ばいとなった。
- 全体の8割は依然として利用に消極的である。
- 年代別では、20代(29.4%)や30代(27.1%)の利用意向が比較的高い一方、50代(5.9%)、60代以上(0.0%)は極めて低く、世代間の資金ニーズの差が鮮明となった。
- 今回は性別による差が顕著で、男性の利用意向(26.0%)に対し、女性は12.1%にとどまった。男性の方が借入に対する心理的ハードルが低い、あるいは利用の必要性を感じている割合が高く、ターゲット層として明確な違いが現れている。

Q. 今後、消費者金融を利用する可能性はありますか？

| | | | 高い | どちらか といえば高い | 低い | まったく ない |
|-----|-------|-----|----|----------------|-----|------------|
| 全体 | | 400 | 18 | 62 | 107 | 213 |
| 性別 | 男性 | 227 | 15 | 44 | 53 | 115 |
| | 女性 | 173 | 3 | 18 | 54 | 98 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 2 | 5 | 12 | 11 |
| | 20代 | 85 | 3 | 22 | 17 | 43 |
| | 30代 | 85 | 7 | 16 | 26 | 36 |
| | 40代 | 85 | 6 | 14 | 19 | 46 |
| | 50代 | 85 | 0 | 5 | 27 | 53 |
| | 60代以上 | 30 | 0 | 0 | 6 | 24 |

消費者金融の利用意向②

- 利用検討時の不安要素は「金利」(39.5%)が最多だが、前回(46.0%)より割合は低下した。
- 次いで「返済計画」(25.0%)、「個人情報の取り扱い」(18.8%)が続く。今回の特徴として、男性の約2割(20.7%)が「個人情報の取り扱い」を不安視しており、女性(16.2%)を上回った点が挙げられる。性別を問わずプライバシー管理への意識が高まっている。
- 年代別では、10代で「返済計画」(40.0%)が金利不安を上回りトップとなった。若年層は返済能力自体への不安が強い。
- 一方、50代以上では「金利」への不安が過半数を占め、年齢層による懸念ポイントの違いが明確になっている。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、最も不安な点は何ですか？

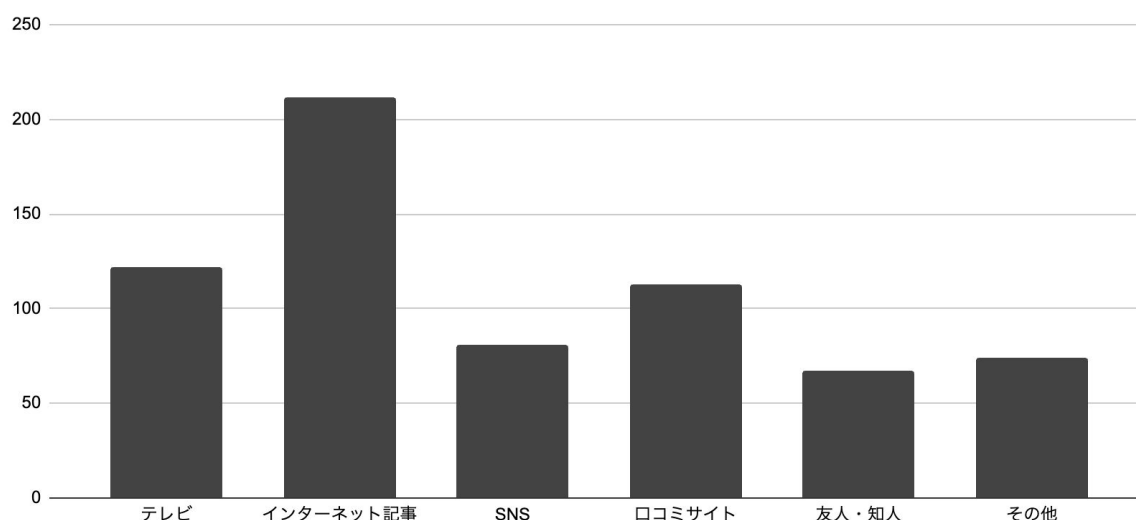
| | | | 審査結果 | 個人情報の 取り扱い | 金利 | 返済計画 | その他 |
|-----|-------|-----|------|---------------|-----|------|-----|
| 全体 | | 400 | 33 | 75 | 158 | 100 | 34 |
| 性別 | 男性 | 227 | 18 | 47 | 95 | 54 | 13 |
| | 女性 | 173 | 15 | 28 | 63 | 46 | 21 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 4 | 6 | 8 | 12 | 0 |
| | 20代 | 85 | 12 | 19 | 26 | 24 | 4 |
| | 30代 | 85 | 10 | 16 | 27 | 22 | 10 |
| | 40代 | 85 | 4 | 15 | 36 | 19 | 11 |
| | 50代 | 85 | 3 | 12 | 46 | 18 | 6 |
| | 60代以上 | 30 | 0 | 7 | 15 | 5 | 3 |

消費者金融の利用意向③

- 情報収集の手段は「インターネット記事」(53.0%)が前回に続き過半数を占めトップとなった。次いで「テレビ」(30.5%)、「ロコミサイト」(28.3%)が続き、Webコンテンツとマスメディアの併用が主流である。
- 「SNS」(20.3%)については、10代・20代だけでなく、30代で29.4%と最も高い利用意向が示された点が注目される。
- SNSが若者だけのツールではなく、購買力のある現役世代の情報源として定着している。年代別では40代の「Web記事」依存度が6割と高く、活字情報を好む傾向がある。ターゲット年代に応じ、Web記事とSNSを使い分ける戦略が有効である。

Q. 消費者金融の利用を検討する場合、消費者金融の情報をどこで得たいですか？

| | | | テレビ | インターネット 記事 | SNS | ロコミサイト | 友人・知人 | その他 |
|-----|-------|-----|-----|---------------|-----|--------|-------|-----|
| 全体 | | 400 | 122 | 212 | 81 | 113 | 67 | 74 |
| 性別 | 男性 | 227 | 73 | 136 | 52 | 64 | 32 | 41 |
| | 女性 | 173 | 49 | 76 | 29 | 49 | 35 | 33 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 7 | 16 | 8 | 7 | 6 | 3 |
| | 20代 | 85 | 24 | 43 | 20 | 26 | 16 | 12 |
| | 30代 | 85 | 32 | 42 | 25 | 26 | 15 | 11 |
| | 40代 | 85 | 30 | 51 | 15 | 22 | 12 | 18 |
| | 50代 | 85 | 20 | 42 | 10 | 25 | 16 | 23 |
| | 60代以上 | 30 | 9 | 18 | 3 | 7 | 2 | 7 |



04.

消費者金融に対する 意識・イメージ

消費者金融に対する意識・イメージ①

- 利用に対する周囲の目について、「とても気にする」(43.0%)と「多少気にする」(34.8%)を合わせると、77.8%が他者の視線を意識している。
- 前回(80.6%)より微減したものの、依然として社会的なスティグマ(烙印)への懸念は強い。
- 特に女性は「とても気にする」が51.4%と過半数を占め、男性(36.6%)よりも世間体を重んじる傾向が強い。
- 年代別では、20代(計87.1%)と10代(計80.0%)で気にする割合が非常に高く、若年層ほど周囲の評価に敏感である。
- また、60代以上でも「とても気にする」が5割を超えており、全世代を通じて「利用を知られたくない」心理が根強い。

Q. 消費者金融の利用について、周囲の目を気にしますか？

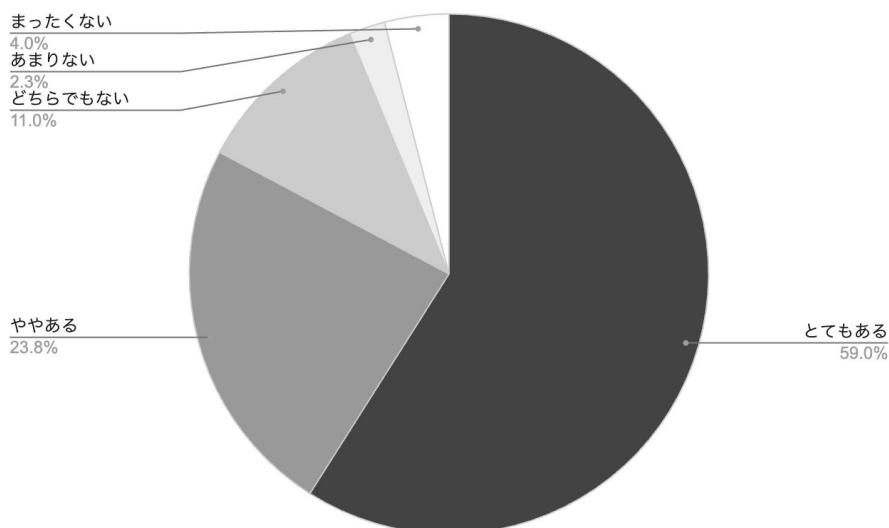
| | | | とても 気にする | 多少 気にする | あまり 気にしない | まったく 気にしない |
|-----|-------|-----|-------------|------------|--------------|---------------|
| 全体 | | 400 | 172 | 139 | 60 | 29 |
| 性別 | 男性 | 227 | 83 | 80 | 42 | 22 |
| | 女性 | 173 | 89 | 59 | 18 | 7 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 8 | 16 | 3 | 3 |
| | 20代 | 85 | 37 | 37 | 8 | 3 |
| | 30代 | 85 | 37 | 26 | 18 | 4 |
| | 40代 | 85 | 39 | 28 | 11 | 7 |
| | 50代 | 85 | 34 | 27 | 15 | 9 |
| | 60代以上 | 30 | 17 | 5 | 5 | 3 |

消費者金融に対する意識・イメージ②

- 利用に対する心理的抵抗感は、「とてもある」(59.0%)と「ややある」(23.8%)の合計が82.8%に達し、大多数が強いバリアを抱いている。「抵抗感がまったくない」層はわずか4.0%に過ぎない。
- 性別では女性の「とてもある」が63.0%で男性(55.9%)を上回り、年代別では60代以上(83.3%)や50代(68.2%)で抵抗感が顕著である。
- 過去のネガティブなイメージや社会通念が、特に女性やシニア層の心理に深く影響していると考えられる。
- 一方で20代は「とてもある」が48.2%と相対的に低く、若年層では抵抗感がわずかながら薄れつつある兆候も見られる。

Q. 消費者金融の利用に対して、抵抗感がありますか？

| | | | とてもある | ややある | どちらでもない | あまりない | まったくない |
|-----|-------|-----|-------|------|---------|-------|--------|
| 全体 | | 400 | 236 | 95 | 44 | 9 | 16 |
| 性別 | 男性 | 227 | 127 | 50 | 32 | 6 | 12 |
| | 女性 | 173 | 109 | 45 | 12 | 3 | 4 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 15 | 12 | 2 | 0 | 1 |
| | 20代 | 85 | 41 | 24 | 15 | 2 | 3 |
| | 30代 | 85 | 44 | 23 | 11 | 3 | 4 |
| | 40代 | 85 | 53 | 13 | 13 | 3 | 3 |
| | 50代 | 85 | 58 | 20 | 3 | 1 | 3 |
| | 60代以上 | 30 | 25 | 3 | 0 | 0 | 2 |

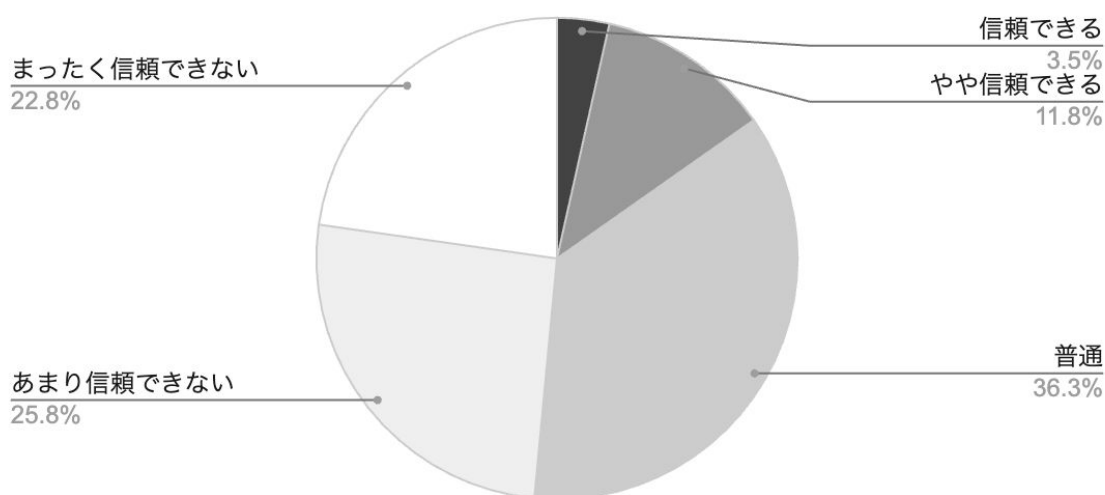


消費者金融に対する意識・イメージ③

- 広告に対する印象は、「信頼できる」(含・やや)との回答が15.3%にとどまり、依然として低い水準にある。
- 最も多い回答は「普通」(36.3%)だが、約半数(48.6%)が「信頼できない(計)」と回答しており、広告への懐疑的な視線は根強い。
- 年代別では、60代以上で好意的な回答が0%、否定的な回答が約7割に達し、シニア層の不信感が際立っている。40代・50代でも否定派が過半数を占める。
- 対照的に、10代などの若年層では好意的な印象が2割を超え、否定的な意見も相対的に少ない。デジタルネイティブ世代においては、広告に対する拒否反応が薄く、受容性が高い傾向が見られる。

Q. 消費者金融の広告を見たときの印象を教えてください。

| | | | 信頼できる | やや信頼できる | 普通 | あまり信頼できない | まったく信頼できない |
|-----|-------|-----|-------|---------|-----|-----------|------------|
| 全体 | | 400 | 14 | 47 | 145 | 103 | 91 |
| 性別 | 男性 | 227 | 10 | 31 | 85 | 52 | 49 |
| | 女性 | 173 | 4 | 16 | 60 | 51 | 42 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 2 | 6 | 15 | 4 | 3 |
| | 20代 | 85 | 6 | 13 | 28 | 22 | 16 |
| | 30代 | 85 | 3 | 13 | 27 | 19 | 23 |
| | 40代 | 85 | 0 | 14 | 27 | 19 | 25 |
| | 50代 | 85 | 3 | 1 | 38 | 27 | 16 |
| | 60代以上 | 30 | 0 | 0 | 10 | 12 | 8 |

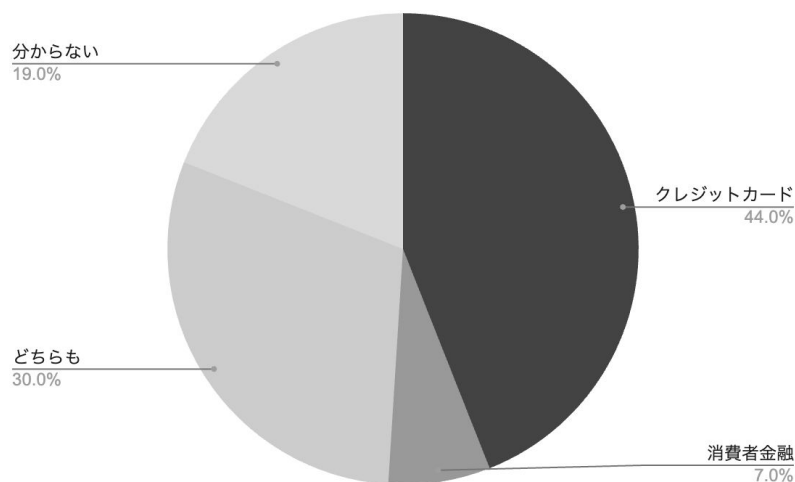


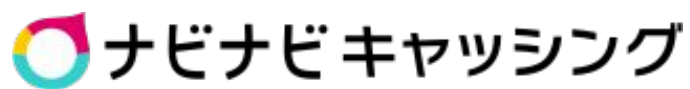
消費者金融に対する意識・イメージ④

- クレジットカードキャッシングとの比較では、「クレジットカードの方が借りやすい」が44.0%で最多だが、前回(51.0%)からは減少した。
- 一方で「どちらも同じ」(30.0%)や「分からない」(19.0%)が増加しており、両者の垣根やイメージ差が曖昧になりつつある。
- 年代別に見ると、シニア層では依然としてクレジットカードの優位性が高いが、20代では「クレジットカード」派が35.3%と全年代で最も低かった。
- また、20代は「消費者金融」を借りやすいとする割合が12.9%と相対的に高く、アプリ完結型サービスなどの普及により、若年層を中心に消費者金融の利便性が再評価され始めている兆候がうかがえる。

Q. クレジットカードのキャッシングと消費者金融、どちらが借りやすいと思いますか？

| | | | クレジット カード | 消費者金融 | どちらも 同じ | 分からない |
|-----|-------|-----|--------------|-------|------------|-------|
| 全体 | | 400 | 176 | 28 | 120 | 76 |
| 性別 | 男性 | 227 | 103 | 16 | 66 | 42 |
| | 女性 | 173 | 73 | 12 | 54 | 34 |
| 年代別 | 10代 | 30 | 16 | 3 | 6 | 5 |
| | 20代 | 85 | 30 | 11 | 24 | 20 |
| | 30代 | 85 | 35 | 5 | 33 | 12 |
| | 40代 | 85 | 32 | 8 | 25 | 20 |
| | 50代 | 85 | 44 | 0 | 27 | 14 |
| | 60代以上 | 30 | 19 | 1 | 5 | 5 |





<https://a-cashing.com/>

調査結果の利用について

統計データを引用・転載する場合には、
出典(ナビナビキャッシング)の表記をお願いします。

(例)資料:ナビナビキャッシング「消費者金融に
関する調査報告書」